



横浜市立富岡東中学校

学校だより

第5号

令和3年7月20日
横浜市立富岡東中学校

前に進む力に

校長 矢田 弘



学校は7月21日から8月26日まで夏休みに入ります。

学校が夏休みに入る7月21日からサッカーが開始され、23日にはいよいよ東京オリンピックの開会式が予定されています。コロナ禍での開催に賛否様々な意見がありましたが、首都圏では無観客で行われることになりました。テレビでの観戦となりますが、夢の舞台で選手が最高のパフォーマンスを発揮する姿をワクワクしながら観たいと思います。特に、私は陸上競技のリレーに注目したいです。

学校だより第4号では、大谷翔平選手の「夢を実現させる」という話を紹介しました。東京オリンピック・パラリンピックに出場する選手は、大谷選手と同じように「オリンピック・パラリンピックに出場すること、そしてメダルを獲得すること」を「夢や目標」にして、私たちが想像できないほどの努力を重ね、夢を叶えたのだと思います。選手の皆さんには、それぞれがもっている最高の状態の競技や演技ができるように応援したいですね。

中学生にとって、運動部活動に所属している生徒は「市総体（横浜市中学校総合体育大会）に出場し、少しでも勝ち進み、県大会に出場したい」ということを目標にしている生徒が多いのではないかと思います。日本一の規模の政令指定都市である横浜市は、市の規模としては日本一学校数が多いので、ほぼトーナメント戦となり、「負けたら終わり」の厳しい大会です。

6月11日から始まっているので、残念ながら多くの部活動が最後の試合を終えています。私は可能な限り足を運んだのですが、すべての試合に応援に行くことができず残念です。最後の試合を終えて、涙を流した人もいたことでしょう。涙が出てくるのは、一所懸命に練習してきたことや、最後まであきらめずに真剣に試合に臨んだ証（あかし）です。

おおよそ2年数か月間の活動の中では、楽しい活動だけでなく、トラブルやいさかきがあったかもしれません。それでも、仲間と話し合ったり、励まし合ったりして乗り越えたのだらうと思います。そんな思いがあるから涙が出てくるのではないのでしょうか。また、人数の関係で試合に出場することができなかった生徒もいたのではないかと思います。チームのためにできることを尽くした姿はとても貴重だと思います。この気持ちを前に進む力にしてほしいと思います。これらの経験はおそらく、進学してもその先の社会に出てからも生かすことができる貴重な経験になると思います。

吹奏楽部は7月24日の吹奏楽コンクールに向けて、制限された条件の中一所懸命に練習に励んでいます。素晴らしい演奏を楽しみにしています。

例年夏休み中に実施されている地域行事や夏祭りも、昨年度に引き続いて中止になっているのはとても残念ですが、子どもたちが地域でお世話になることもあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の変異株が増加していて、感染力が強くなっているそうです。「まん延防止等重点措置」が8月22日まで延長されました。今後も決して油断せずに、感染防止に努めたいですね。

区こども国際平和スピーチコンテスト



去る6月29日(火)に各校の代表が金沢公会堂に集まり、スピーチコンテストが行われました。どの学校代表も自分の思いを堂々と発表していました。本校でも校内選考会が行われ、代表として■■さんが選ばれ、素晴らしい内容とともに自信をもって発表することができました。

「差別をゼロに」

■■ ■■

皆さんは、人種差別についてどのような考えを持っていますか。私は、あってはならないものだと思います。

なぜなら、この世界では様々な人種や民族が生活しているからです。言語や文化、肌の色など異なる部分はいくつもあります。それでも同じ人類であることは変わりません。

しかし、そんな中にも差別が生まれる事はあり、その差別によって苦しむ人が増え大きな問題となっています。差別は、年齢も性別も関係なく、世界中で今日も人種を理由とした差別が起こっているのです。2016年、6月「ヘイトスピーチ解消法」と言う差別を無くすための法律が施行されました。しかし差別が無くなることはありませんでした。

では、私達には何ができるのでしょうか。私が小学生の頃、外国から転校して来た女の子が居ました。その子は、肌の色や匂いなどについていじめられ、徐々に学校へ来なくなりました。しかし私は、「もし自分も同じ事をされたらどうしよう。」という恐怖から、彼女を助ける勇気が出ませんでした。彼女が学校に来なくなったのにも関わらず彼女の悪口は、たえませんでした。もし、あの時私が彼女に一言声をかけていればと、とても後悔しています。自分達とは、異なると言う事だけで彼女はいじめられ、苦しんでいたのです。

その事から差別を無くす為には、世界中の人一人一人が「相手の事を良く知り理解する。」と言う事を意識し、実際に理解する為に行動する事が大切だと思いました。

「しかし理解する為の行動とは、何をすればよいのだろうか。」と思った私は一つの案を思いつきました。それは相手の良い所を見つける事です。人はどうしても相手の嫌な所ばかり目に付いてしまいます。そういう時は、一度深呼吸をして視野を広げて見たらどうでしょう。必ずその人の良い所が見つかるはずで、相手の良い所を見つける事は、相手を理解する事に近づくと思います。そして沢山良い所を見つけ、差別という言葉から、仲間と言う言葉に変わって欲しいと強く思います。

差別をゼロに。差別はあってはならない。この私の言葉が少しでも多くの人々の心に響いてくれることを願っています。

あいさつ運動・・・小学生がポスターを描いてくれました



本校はあちこちで気持ちの良い挨拶が飛び交っています。

廊下ですれ違ったとき、教室で顔を合わせたとき、下校するとき、職員室に来た時、生徒も先生も元気に挨拶をしてくれます。うれしいですね。

地域について考えよう～タウンミーティング～

生徒指導専任 岩井 竜也

7月16日(金)、2年ぶりの生徒参加型地区懇談会(タウンミーティング)を開催しました。例年さまざまなテーマについて、学区内3小学校に分かれ、地域の方や保護者の皆様にご協力いただき、子どもたちや教職員と一緒に考え、意見を交わす場として開催してきました。

昨年度はコロナ禍のためやむなく中止としましたが、今年度は感染予防のために規模と人数を縮小し、中学校会場で開催いたしました。

今年度はテーマを「地域の防災力」と設定し、それぞれの地域で災害に向けてどのような取組をしているか、各地域の防災拠点運営委員の方からお話を伺い、中学生に防災をより自分事として考えてもらう機会にしました。

3.11から丸10年が経ち、今の中学生はあの大震災を知らない世代になりましたが、いつの時代も頼りになるのは向こう三軒両隣、地域の絆です。この貴重な機会をこれからも続け、いざというときに学校・家庭・地域が支え合える関係でありたいと思います。

各学年レクリエーション

コロナ禍で様々なことができなかつたりしますが、学年の親睦を深めるために各学年趣向を凝らしてレクを開催していました。学級委員を中心に企画・運営をし、司会がしっかり指示をして会を進行していました。どの学年も笑顔があふれていました。



↑ 1年ドッジボール大会(7/14)



↑ 3年いなばの白うさぎ(5/28)



↑ 2年じゃんけん列車&ダンス(6/8)



↑ 2年ドッジボール大会(7/6)

特別支援教育支援員の紹介

6月より、地域の方である山中 直さん、鳴尾 幸子さんが学校支援のボランティアとして子どもたちを見守って下さっています。

アシスタントティーチャーの紹介

7月7日(水)より毎週水曜日、竹村 賢信さんが、アシスタントティーチャーとして本校で勤務しています。バスケットボールを得意としています。

8・9月の主な予定

日	曜	行事	日	曜	行事
27	金	始業式 再登校14:00	14	火	
28	土		15	水	SC来校
29	日		16	木	
30	月	㊦避難訓練(地震・津波) 教育相談	17	金	
31	火	3年午前授業 教育相談1.2年 金沢区子ども会議	18	土	
1	水	3年修学旅行 教育相談1.2年 SC来校	19	日	
2	木	3年修学旅行 教育相談1.2年	20	月	敬老の日
3	金	3年修学旅行 教育相談1.2年 PTA実行委員会	21	火	学習相談 定例会
4	土		22	水	SC来校
5	日		23	木	秋分の日
6	月	2年自然教室 教育実習開始 ①1-3音 1-4美 ㊦1-1理	24	金	学習相談 ②1-4家、③1-4美 1-1家
7	火	2年自然教室	25	土	
8	水	2年自然教室 SC来校	26	日	
9	木	2年10:00登校(午前授業)	27	月	二学期中間テスト1日目
10	金		28	火	二学期中間テスト2日目
11	土		29	水	SC来校
12	日		30	木	総務会



夏季休業期間は7月21日(水)～8月26日(木)までとなります。
また、学校閉庁日は8月10日(火)～8月13日(金)です。

学校では前後の土日も含め留守番電話となります。**緊急の場合や、
新型コロナウイルス感染陽性判明時のみ**横浜市教育委員会南部学校教育事務所(045) 843-6408 に平日の8時30分から17時15分の間におかけください。

